

広島県医師会の 広報活動

一般社団法人広島県医師会

日本医師会「素敵な広報」共有事業



01

被爆伝承コーナー

世界で唯一の被爆国としてできること

01 被爆伝承コーナー①

世界で唯一の被爆国としてできること



令和2年、被爆から**77**年が経過し、被爆資料の**散逸**や**風化**が懸念されたことを受け、広島県医師会は令和3年8月、本会会員に被爆関連資料の提供を呼びかけました。その結果、死亡診断書やカルテ、証言など多数の貴重な資料が寄せられました。

令和4年8月、これらを常設展示する

「広島県医師会被爆伝承コーナー」

を広島県医師会館1階に開設し、県内外の来訪者に公開しました。

01 被爆伝承コーナー②

世界で唯一の被爆国としてできること



令和5年度



令和6年度



令和7年度

令和5年度には、**在ブラジル原爆被爆者協会**から寄贈された南米被爆者に関する資料、令和6年度には、被爆当時の広島赤十字原爆病院院長 **竹内 健** 先生の手帳や日記などをもとに特別展を開催しました。

令和7年度は被爆80年を迎え、広島市医師会と合同で記念事業「**ヒロシマ医師の被爆80年～あきらめない、やめない、終わらない～**」

を開催します。

また、被爆伝承コーナーでは、貴重な資料の展示のほかに、広島県医師会が事務局を務めている、

I P P N W 核戦争防止国際会議 のこれまでの活動をまとめた展示も行っています。





02

救急小冊子

救急の日に「救急」をテーマに発刊

02 救急小冊子①

救急の日に「救急」をテーマに発刊



広島県医師会では、毎年、9月9日の「**救急の日**」に合わせて、救急医療の知識を正しく理解していただく目的で、救急をテーマとした小冊子を発刊しています。

昭和58年から、これまで**43**種の救急小冊子を発刊してきました。

救急小冊子は、広島県医師会ホームページの中の「県民のみなさまへ」の中にある専用ページから注文できるようにしています。

▶URL

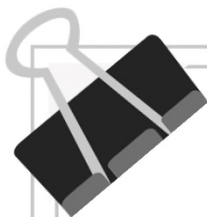
<https://www.hiroshima.med.or.jp/kenmin/pamphlet/>



02 救急小冊子②

救急の日に「救急」をテーマに発刊

昭和58年7月	救急医療と応急処置	平成10年9月	目の救急	平成25年9月	知っておきたい薬物の乱用・依存に関する基礎知識
昭和59年8月	老後を健やかに－老人の救急医療－	平成11年9月	心臓の救急	平成26年9月	知っておきたい予防できる海外での感染症
昭和60年8月	スポーツ障害の応急処置	平成12年9月	肺の救急	平成27年9月	知っておきたい眼科の救急
昭和62年2月	目の一生	平成13年9月	救命（いのち）のリレー	平成28年9月	知っておきたい心臓病の救急
昭和62年9月	みんなの心臓病学	平成14年9月	お母さんの知っておきたい子どもの病気(外科編)	平成29年9月	知っておきたい産婦人科の救急
昭和63年12月	耳鼻咽喉科の救急	平成15年9月	お母さんの知っておきたい子どもの病気(内科編)	平成30年9月	知っておきたい整形外科の救急
平成元年9月	お母さんにできる応急手当	平成16年9月	家庭で知っておきたい皮膚の病気	令和元年9月	知っておきたい子どもの救急
平成2年9月	脳卒中	平成17年9月	家庭で知っておきたいスポーツ障害	令和2年9月	家庭でできる感染対策－呼吸器Q&A－
平成3年9月	腹痛	平成18年9月	家庭で知っておきたいAED	令和3年9月	ワクチン接種“守り”から“攻め”への転換 副反応をよく理解してワクチン接種へGO！ ～新型コロナウイルスに負けないぞ！～
平成4年9月	皮膚病	平成19年9月	家庭でできる感染対策－食中毒Q&A－		
平成5年9月	防ごう！老人の骨折	平成20年9月	家庭で知っておきたい脳卒中の救急	令和4年5月	ワクチン接種“守り”から“攻め”への転換 副反応をよく理解してワクチン接種へGO！ ～新型コロナウイルスに負けないぞ！～ 改定版
平成6年9月	こころの救急	平成21年9月	家庭で知っておきたい耳鼻咽喉科の救急		
平成7年9月	産婦人科の救急	平成22年9月	知っておきたい“腹痛（おなかが痛い）”ポイント	令和4年9月	知っておきたい新型コロナウイルス感染症の後遺症
平成8年9月	下血	平成23年9月	知っておきたい放射線の正しい知識	令和5年9月	知っておきたい命の危機に直結する救急疾患
平成9年9月	泌尿器科の救急	平成24年9月	知っておきたいアナフィラキシーの正しい知識	令和6年9月	守る命、つなぐ希望 災害時に役立つ基本知識と最先端技術



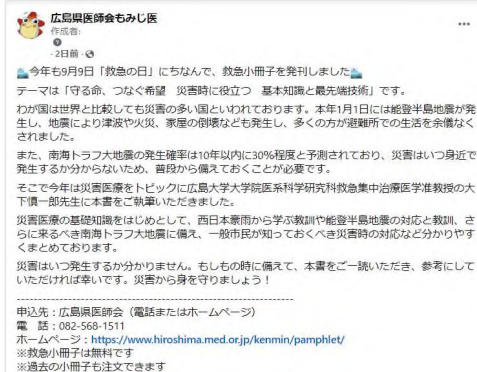
03

公式SNSの活用

Facebook、Instagramの有料広告を用いた
ホームページへの誘導作戦

03 公式SNSの活用①

Facebook、Instagramの有料広告を用いた ホームページへの誘導作戦



広島県医師会では、これまで公式SNSとして**Facebookのみ**を運用していたが、投稿数・閲覧数ともに少なく、十分に活用されていませんでした。

広報戦略室からの提案を受け、広報ツールとして**Instagram**のアカウントを新たに開設し、さらに広報効果を高めるために**有料広告**の活用を開始しました。

令和6年には、**救急小冊子の案内**をSNS上で**有料広告**として掲載しました。

「詳しくはこちら」から本会ホームページの申込ページへ誘導する形を採用しました。

03 公式SNSの活用②

Facebook、Instagramの有料広告を用いた ホームページへの誘導作戦

内 容	期 間	表示回数	クリック 回数	クリック 率	広告経由での 送信ボタンの クリック
被爆80年企画事業 (掲載中)	R7年07月01日 ～R7年07月21日	41,052回	1,095回	2.67%	36回
医家芸術展	R7年02月27日 ～R7年04月27日	106,117回	916回	0.86%	—
広島県医師会 被爆伝承コーナー	R6年11月21日 ～R7年01月20日	60,962回	1,270回	2.08%	—
広島医学会総会 県民公開講座	R6年10月17日 ～R6年11月10日	46,681回	1,034回	2.22%	42回
救急小冊子	R6年09月26日 ～R6年11月24日	115,188回	3,108回	2.70%	646回

※令和7年7月21日現在



広島県医師会
公式Facebook



広島県医師会
公式Instagram

その結果、2か月間で約**11万5,000件**
表示され、約**3,100回**クリックされ、約
650件の注文につながりました。

以後、計5件の内容について有料広告
を実施し、内容ごとにターゲットとなる
年代・性別・居住地域を設定すること
で、**効率の良い閲覧効果**を得ました。

今後も、一般県民への周知を目的とす
る情報については、引き続き**有料広告**を
積極的に活用したいと思います。



04

広報戦略室

官・学・民一体の「オール広島」による広報活動

04 広報戦略室 ①

官・学・民一体の「オール広島」による広報活動

【広報戦略室の役割】

広島県医師会の広報活動の**評価**

広島県医師会の**イメージアップ**のための
基本戦略の策定

広報委員会が実施する
広報実務の**基本戦略**の策定

戦略的な広報媒体の選定

広島県医師会は、全ての事業において、**官・学・民一体の「オール広島」**をモットーに会務運営しています。

会員向けおよび県民向け広報について、**効率的**かつ**効果的**な広報活動の戦略を策定する必要があると考えています。

「**広報戦略室**」は、広島県医師会としての基本方針に基づき、広報委員会が**戦略的**かつ**効果的**に遂行される体制を整えるために、広報の**専門家**が本会の広報活動を**評価**し、実務に対する基本戦略の**企画・立案**や**助言**を行うことを目的としています。

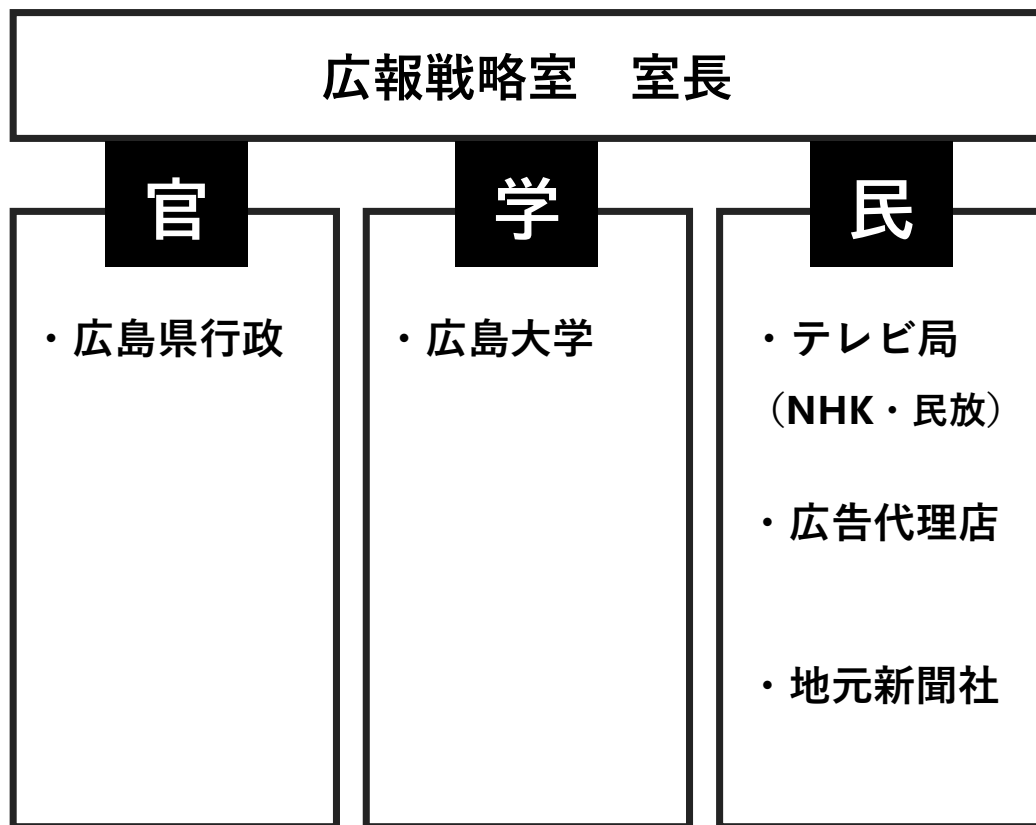


松村 誠 会長

04 広報戦略室②

官・学・民一体の「オール広島」による広報活動

【広報戦略室の組織構成】

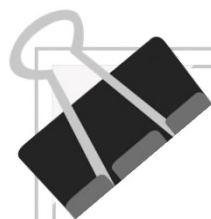


官・学・民一体の「**オール広島**」による広報活動！

▶ OUTPUT

広報戦略室の提案で実施した活動

- ✓ 積極的なメディアへの多数出演（テレビ・ラジオ）
 - ・広島テレビ「テレビ派」
 - ・NHK「お好みワイド広島」
 - ・広島ホームテレビ「5up」
 - ・ひろしまケーブルテレビ「ちゅピCOM」
- ✓ 新聞取材対応および啓発広告の掲載
 - ・医療・健康に関する企画紙面の掲載
 - ・広島県知事、広島大学学長、広島県医師会長による鼎談
 - ・広島県医師会130周年記念
- ✓ 記者会見の実施
 - ・新型コロナウイルス感染症に関する緊急メッセージ
 - ・広島県知事との合同記者会見 etc
- ✓ 被爆伝承コーナー開設と企画展の実施
 - ・広島県内の医療機関に眠る被爆資料の展示
 - ・被爆カルテ
- ✓ ホームページのスマホ閲覧対応
 - ・スマホ閲覧対応
 - ・e-広報室もリニューアル
 - ・SSL化も対応
- ✓ SNS有料広告の実施
 - ・SNSからホームページへの誘導
 - ・FacebookだけでなくInstagramも利用
 - ・今後はXへの投稿や動画投稿も検討



05

報道各社との懇談会

地元メディアとの友好的な関係構築のために

05 報道各社との懇談会 ①

地元メディアとの友好的な関係構築のために



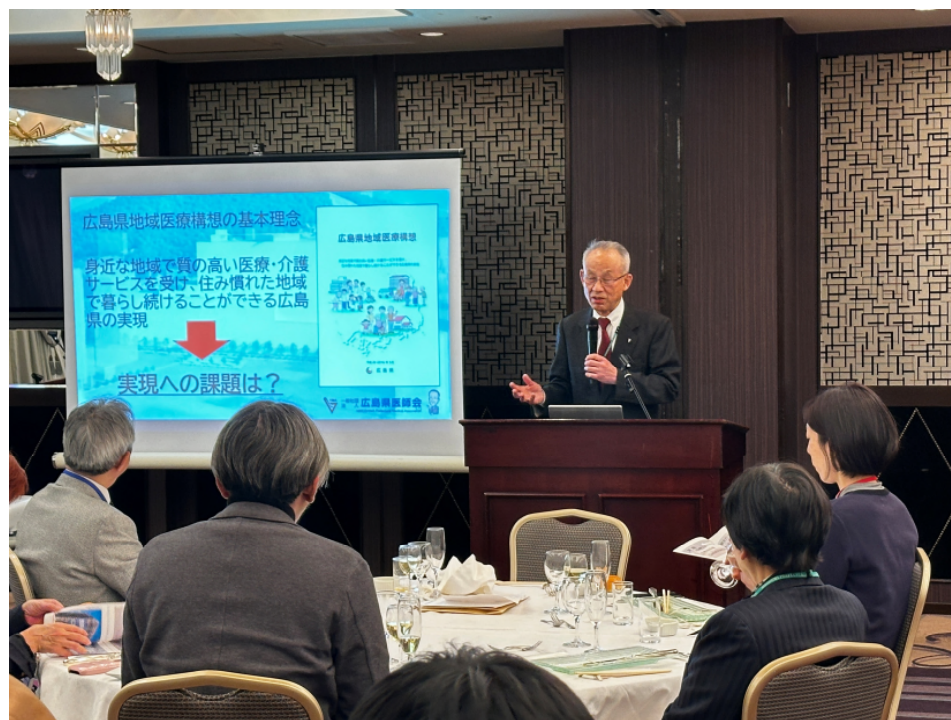
本会は、地元報道各社の方と顔の見える関係を築くことを目的に「**報道各社との懇談会**」を毎年開催しています。

この会を開催することで、報道側は医療に関する報道をする際の**専門的な情報の入手**や、専門医への取材等の**コンタクト**が取りやすくなります。

一方、本会も報道機関とのパイプが構築でき、県民に**正確な情報**をあらゆる**媒体**を通じて**タイムリー**にお知らせすることが可能になりました。

05 報道各社との懇談会②

地元メディアとの友好的な関係構築のために



報道各社との懇談会では、本会から聞きたい医療トピックスを参加する報道関係社に事前にアンケートを取り、多かった項目について、その担当役員が情報提供する場を設けています。

過去には、地域医療構想による新病院の建設についてや、医師の働き方改革、広島県における医療DXについてなど、さまざまなテーマが取り上げられました。

今後も、報道各社との関係構築をすることで、正しい情報を迅速に的確に伝えることを大切にしたいと思います。



最後に...

より良い広報をめざして・・・

広島県医師会は、官・学・民一体、広報のプロで組織された「広報戦略室」と「広報委員会」を中心に、県民と医師会会員に広島県医師会をよく知っていただき、県民のための医師会、会員のための医師会を実現できるように、メディアと協力しながら、またあらゆる媒体を用いて、より一層効率的で効果的な広報活動が続けていきたいと考えています。

一般社団法人広島県医師会